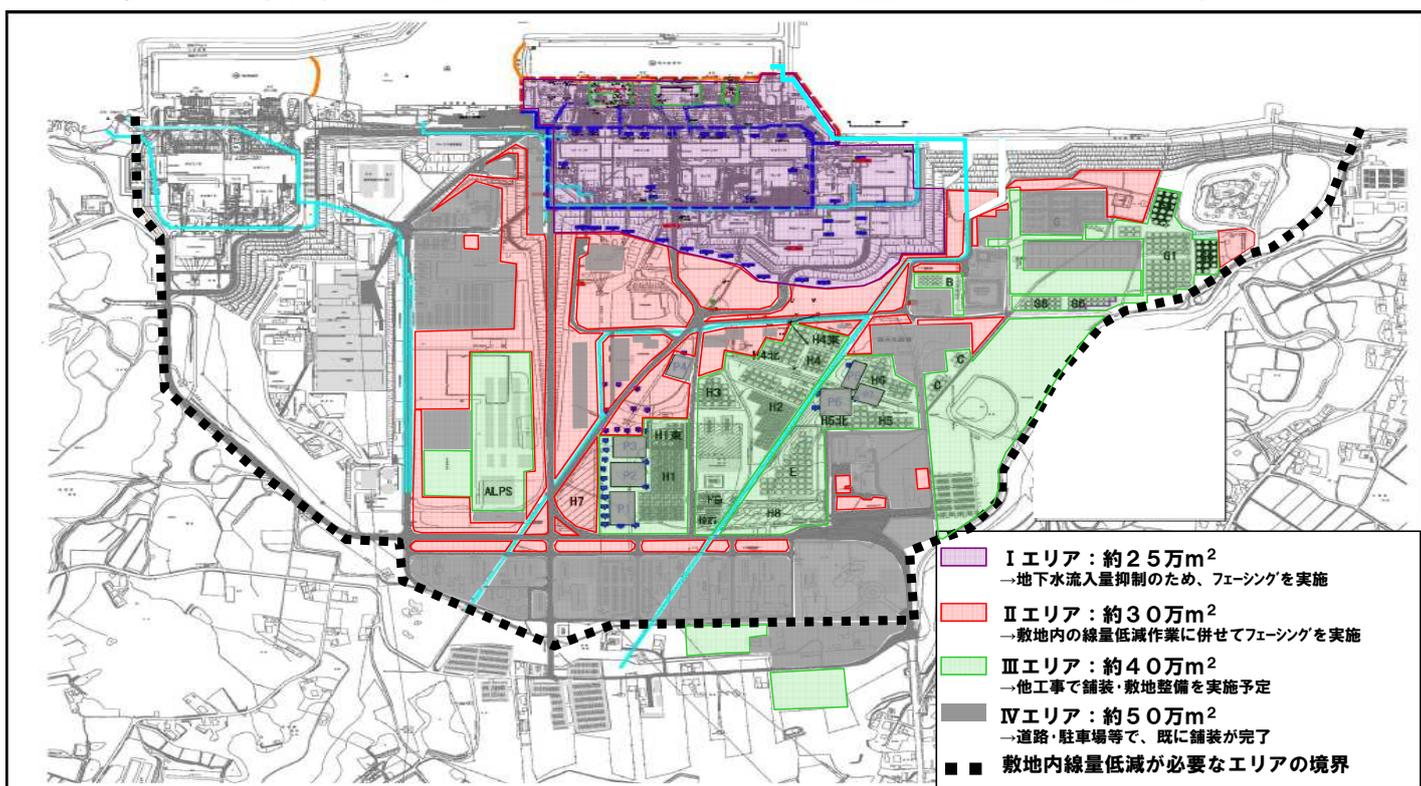


# フェーシング計画等について(平成27年度)

2015年5月28日  
東京電力株式会社

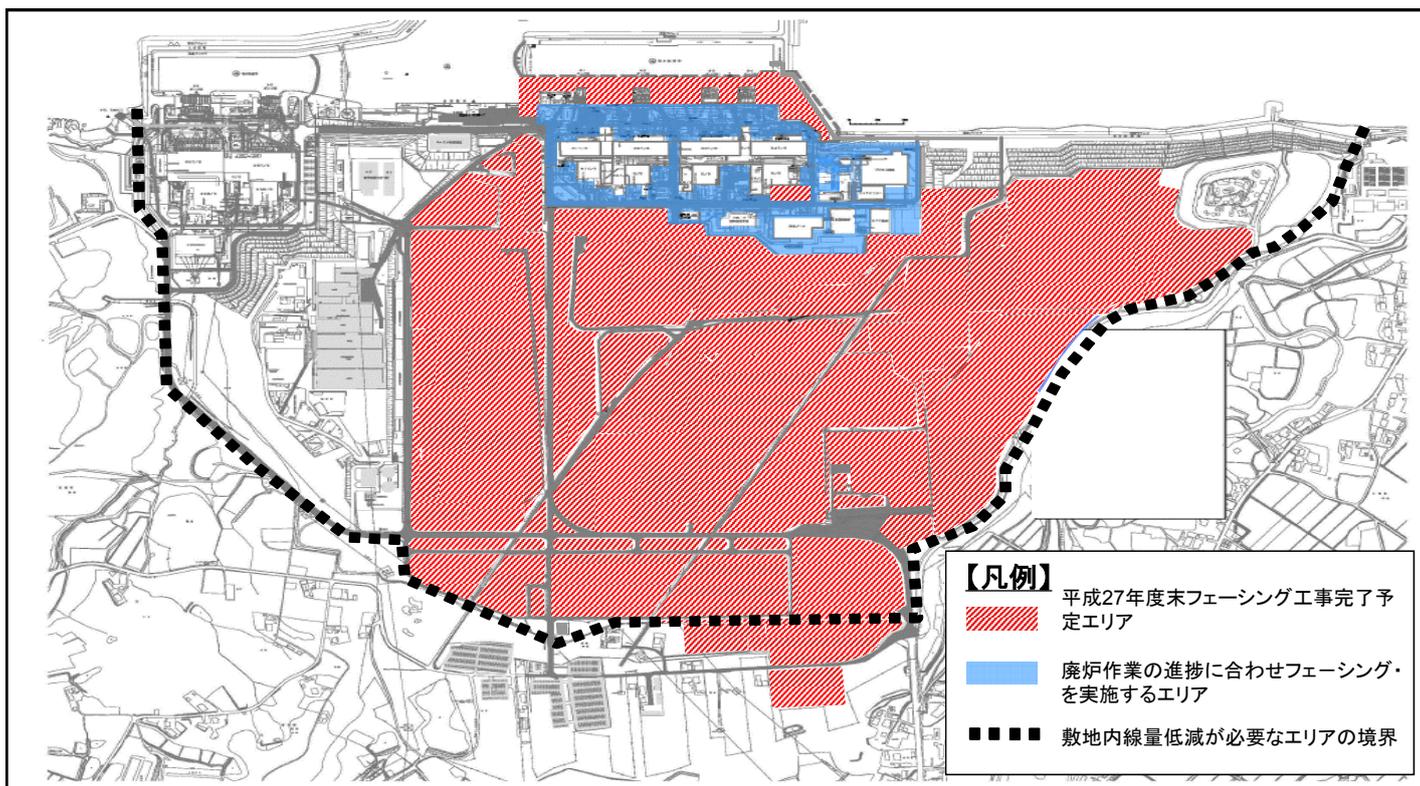
## 1. フェーシングの目的と範囲

- 構内の地表面をアスファルト等で覆い、線量低減並びに雨水の地下浸透を抑制し建屋への地下水流入量の低減を図る。



## 2. フェーシング工事完了予定状況(平成27年度末)

平成27年度末フェーシング工事完了予定エリア面積 約135万m<sup>2</sup>  
廃炉作業の進捗に合わせてフェーシングを実施する面積 約10万m<sup>2</sup>



東京電力

無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

3

## 3. 広域フェーシングの実施に伴うリスクへの対応

### ■ 表流水増大のリスク対策

- 集中豪雨に対応できる排水路の整備を行う
  - 4. 広域フェーシングに伴う排水路設置
- 想定を上回る降雨により排水路で処理できない場合でも、汚染水が増加することのないよう対策を行う
  - 5. 集中豪雨対策(1), (2)

### ■ 汚染水の表面流出リスク対策

- 外周堰外で万が一漏れい水が地下に染み込むことなく時間をおかずに海にまで到達してしまうリスクがあることから対策を行う
  - 検討中



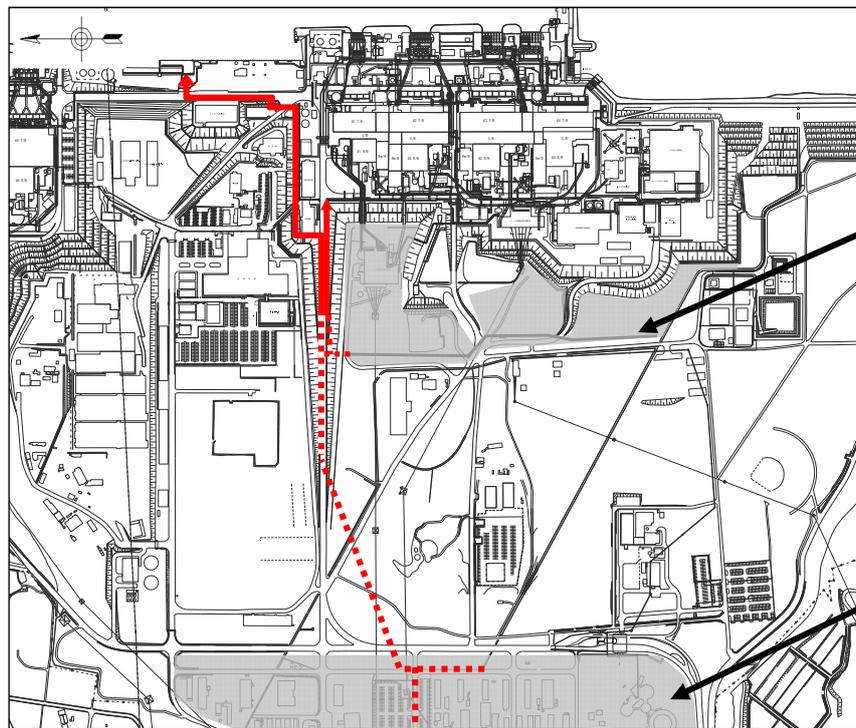
東京電力

無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

4

## 4. 広域フェーシングに伴う排水路設置ルート

- 広域フェーシングにより、排水路に流入する雨水量が増加するため、特にフェーシング実施中の地下水バイパスエリア、西側エリアについては流域を変更して排水路を設置する等で排水する計画である。
- 排水路については、既設排水路（側溝）の有効利用も踏まえた排水路ルート、及び排水路の自流勾配が確保できるルートを選定した。



地下水BPエリア・・・面積:9.4万m<sup>2</sup>  
(切替前:K排水路)

### <凡例>

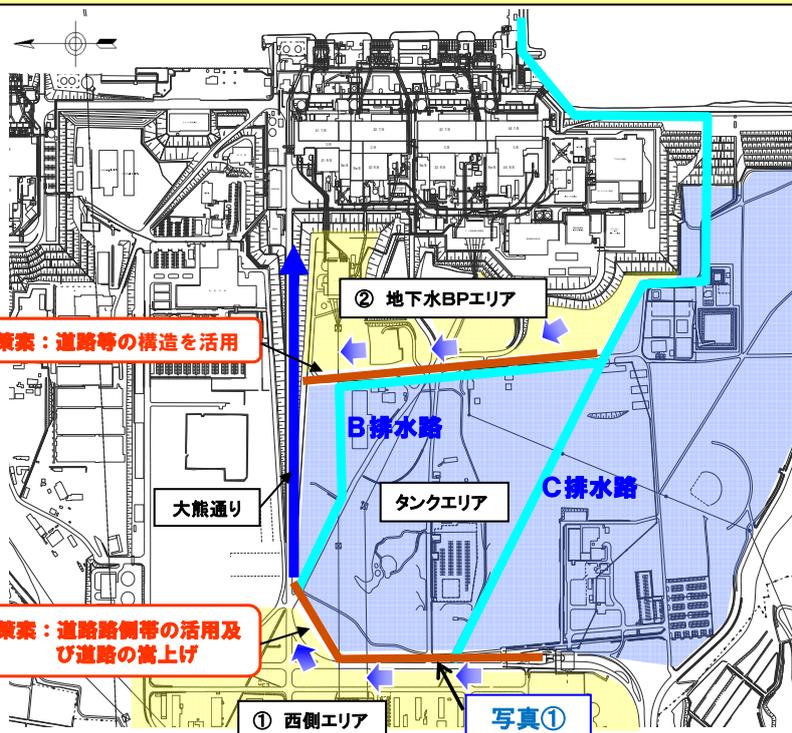
- :排水路(地中配管)
- :排水路(地上配管)
- :排水路の集水エリア

西側エリア・・・面積:41.4万m<sup>2</sup>  
(切替前:B・C排水路)

## 5. 集中豪雨対策(1)タンクエリア

- 集中豪雨等により排水路の容量がオーバーした場合においても、汚染水の漏えいリスクのある（タンクエリア）に余分な水が流入しないようにする。

- ①「西側エリア」から溢れた雨水は、道路路側帯等の活用及び道路の嵩上げにより、大熊通りに導き排水する。
- ②「地下水BPエリア」から溢れた雨水は、道路等の構造を活用し、大熊通りに導き排水する。



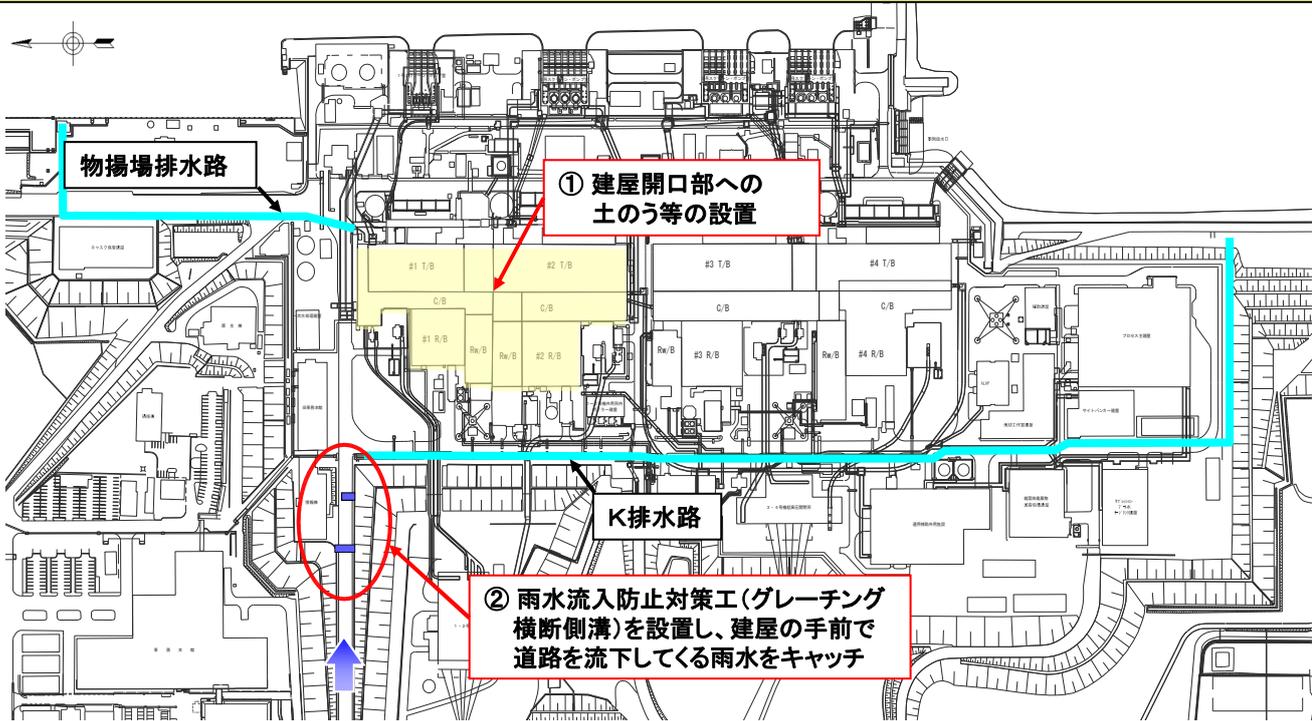
### <凡例>

- :汚染水の漏えいリスクのあるエリア (タンクエリア)
- :汚染水の漏えいリスクのないエリア (地下水BPエリア、西側エリア)
- :既存排水路
- :流れ



# 5. 集中豪雨対策(2)原子炉建屋エリア

- 原子炉建屋等に集中豪雨等による大量の雨水が入らないよう措置する。
  - 建屋の防水対策を進めるとともに、建屋開口部へ土のう等を設置することにより建屋への浸水を防止。
  - 道路に雨水流入防止対策工(グレーチング横断側溝)を2箇所設置し、建屋の手前で道路を流下してくる雨水をキャッチし、建屋への雨水流入を防止する。



# 6. 全体スケジュール

	平成27年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
フェーシング工事	[Yellow bar spanning from April to December]											
排水路・集中豪雨対策工事		[Yellow bar spanning from May to December]										▼排水路運用開始

